

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.7.25 No. 172 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地の動き 航空救難団(新潟救難隊)の救難捜索機U-125Aが飛来



7月16日(火)午後2時40分、航空自衛隊・航空救難団・新潟救難隊の救難捜索機U-125A(左写真)が着陸し、20分で離陸しました。航空自衛隊航空救難団は、今年3月26日、航空総隊司令部隷下に。航空救難団司令は「新たなステージで戦闘機部隊と一体の脅威下の任務も」と語っています。

7月15日(月)には横田基地所属のヘリコプターUH-1N(右写真)が飛行訓練をしていました。ミサイル・レーダーを感知した時に攻撃を避けるための急旋回訓練、ホバリングしながら地上の物を収集する訓練です。



7月18日(木)には、午前中はいつものようにC-12Jがタッチアンドゴー訓練、C-130Hは「将軍」と呼ばれる急旋回や2機編隊によるパラシュート投下訓練、タッチアンドゴー訓練等を行っていました。

運用即応演習(15～18日)については、米軍横田基地HPに「空輸ハブはORE中に準備を表示する」の見出しで、写真などがアップされています。「西太平洋における唯一の空輸拠点としての使命を実行するための能力を測定することに焦点を当てた」OREだということです。右写真説明には、人道的な任務のための医療資産を展開する能力のテストとあります。



横田基地内で15日、2発の不発弾が発見され、16日に爆破処理された

米軍横田基地広報部によると、7月15日の正午頃、横田基地の東地区にある教会近くの工事現場で不発弾2発(第二次世界大戦当時のもの)が発見されました。横須賀海軍基地の不発弾処理班が16日午後1時過ぎ、爆破処理しました。

米軍横田基地の軍属親子が13日、日本人2名に暴行、逮捕されていた

23日、防衛省(北関東防衛局)から自治体へ連絡。暴行事件の日時は13日(土)時間不明、場所は福生駅付近。被疑者はA・米軍属メリーランド大学職員、B・米軍属Aの息子31歳、被害者は日本人2名。概要:Bが日本人1名を地面に押し倒し頭部打撲による重傷(全治不明)を負わせ、その後Aが別の日本人を殴打。細部の状況は北関東防衛局が警視庁及び横田基地に照会中。



核兵器のない世界を 西多摩を平和行進

2013原水爆禁止国民平和行進が、7月18日から20日までの3日間、西多摩の全自治体・4市3町1村(檜原村、日の出町、あきる野市、奥多摩町、青梅市、羽村市、瑞穂町、福生市)の3コース・延べ約75kmを歩きました。

福生公園で終結集会が行われました。アメリカ軍横田基地司令官宛の要請文も読み上げられ、2013原水爆禁止国民平和行進の横断幕などは、昭島に引きつがれました。(写真は五日市街道から横田基地第5ゲートを見て国道16号に向う行進団)

沖縄・高江海上で オスプレイが空中給油 住民が目撃 (No.172 の裏面)

7月10日午後6時45分ごろ、東村高江の海岸上空で、MV22 オスプレイが空中給油をしながら南下していく様子を、高江の住民が目撃していました。目撃した男性によると、オスプレイが空中給油していたのは、海岸の約200メートル上空。約10～20秒の間に南へ通過していったといいます。前方を飛んでいた米軍機からホースが伸び、オスプレイに給油する様子を確認しました。



(写真：オスプレイ)

同男性は「低く飛んでいたから、ホースまで見えた。集落の近くで給油しながら南下するのを初めて確認した」と話していたそうです。環境レビューでは、岩国基地とキャンプ富士にオスプレイを2機から6機派遣して日本本土での低空飛行訓練をすることになっていますが、そのためには途中でオスプレイに給油しなければなりません。高江でオスプレイの前方を飛んでいた米軍機がKC-130空中給油機かどうかは不明ですが、沖縄で空中給油の練習をしていたのでしょうか。

沖縄に追加配備のオスプレイ 輸送船に搬入され日本に向かっている

民間運搬船「グリーン・リッジ」が15日午前(現地時間)、米カリフォルニア州サンディエゴの港に到着。米海兵隊普天間基地に追加配備される予定のMV22 オスプレイ12機を積み込み、16日出港しました。28～31日に岩国基地に到着し、機体整備やテスト飛行後、8月上旬に普天間基地に配備する予定。追加配備が完了すれば最初の12機と合わせて24機になり、CH46中型輸送ヘリコプターとの交代計画が完了することになります。

オスプレイ 追加配備「反対」82% …沖縄電話世論調査…

琉球新報社が共同通信社と行った県内電話世論調査で、米軍新型輸送機オスプレイの普天間基地への追加配備について「すべきではない」との回答が82.3%に達したことが分かりました。

追加配備賛成は6.5%です。追加配備に、県民の大多数が反対していることは明らかです。

普天間の移設問題への質問では国外移設を求める意見が29.9%と最も高く、次いで県外(国内)移設が24.3%。「無条件閉鎖・撤去」が19.6%。日米が合意している名護市辺野古移設への支持は9.9%にとどまり、県内移設反対は73.8%に上りました。21日の参院選では、全国で自民党が圧勝する中、1人区の沖縄選挙区では「憲法を守り、基地のない平和な島・沖縄」をめざす糸数慶子さんが当選しました。政府が沖縄を無視しないよう、本土でたたかきましょう。

辺野古埋め立て「告示・縦覧」が終了 意見書は2000通を超える

米軍普天間飛行場代替施設の名護市辺野古への建設に向けて、沖縄防衛局が県に提出した公有水面埋め立て承認願書を住民に公開する「告示・縦覧」が18日、終了しました。所管する県海岸防災課は、告示・縦覧期間中に受け付けていた「利害関係人」からの意見書が同日までに2000通を超えたことを明らかにしました。同課は「県内での埋め立て事業への意見書としては、最多ではないか」と話しており、辺野古への埋め立てに対する関心の高さが浮き彫りになっています。

利害関係人の意見書について、県は18日の消印有効で郵送でも受け付けていたことから、今後さらに増える可能性もあるとしています。利害関係人については、「どういう人たちからどういう意見が来たのか確認し、利害関係人かどうか判断したい」と述べており、気になるところです。

米軍機 世界遺産サンゴ礁グレートバリアリーフに爆弾投下

報道によると、米海軍の戦闘機AV-8ハリヤー、2機が演習中、世界最大のサンゴ礁、オーストラリアのグレートバリアリーフに「緊急の機外投棄」で、信管が抜かれた訓練用の爆弾4発を投下したことが21日に分かり、「常軌を逸した行為だ」と批判の声が上がっています。

